

No.23

2019年10月

一凜 月刊

書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



夢は美一歩一歩
希望は高まれば
夢も希望も捨てなければ
必ず近づいてくる

目的は高まれば、そのための
一歩一歩で目標を定めよう
うそそのために時を

刻むぞよ。



月刊一凜 No.23 <2019年10月>

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786
<http://www.shodo-ichirin.com/>

墨を擦る

文 岡田 雄希

30分間の朝散歩

始めたきっかけは、運動不足気味の愛犬を散歩させることが目的だった。早い時は午前5時半、遅い時はその2時間遅れ。強い雨が降らない限り毎日続いている。11歳の愛犬が暑かった今年の夏場には熱中症になり、ぶつ倒れた日も途中から愛犬を抱えて散歩したこともある。

自慢ではないが、成人病の原因が全身にある不健康な人間だ。これまで、このコーナーで書いたが9年ぶり、2度目の脳梗塞にもなった。妻や一凛の佐々木先生や教室仲間、かかりつけ医の大久保先生まで心配させた。

「3度目の脳梗塞は取り返しがつかないことになる」と入院中に告げられたので、今もそれが“神のお告げ”のように脳内に鳴り響いている。と同時に、いまだに続いているモチベーションとして福岡市早良区の奥地に住んでいるため道すがら遠くに見える山の緑と空の青さを見ることが加えて、朝の清浄な空気を吸える喜びがある。

私同様に愛犬の散歩をしている人も

ただ、ひとつ気になるのが歩いている人たちの年齢層だ。いずれも私より先輩ばかりに見える。勝手な想像をして申し訳ないのだが、その中の男性は左足を引きずるように歩いているので私と同じ脳梗塞を患い、後遺症が出たのではないかと思っている。

そんな“朝さん”的出来事を自宅に帰つてから、シャワーを浴びて朝食をとりながらながらみさんに報告するのが日課にもなった。つい先日も「散歩の時に気がついたちやつけど…歩いとののは、お年寄りばかりなんだなあ」とつぶやくと、かみさんがうんざりした顔で「あんた、相変わらず自分のことが分かつてないわね」と言われ、こう追い打ちをかけられた。「あんたも年寄りなのよつ！」

岡田 雄希 Yuki Okada

昭和33年3月20日、北九州市生まれ。平成23年12月に一凜に入門。
趣味は自転車と酒を飲むこと。酒は誘われたら断らないがモットー。

佐々木 峯雲
書道家

日本書道協会「名言名句辞典」他より抜粋編集

佐々木 峯雲



峯雲 書

美意延年



美意延年とは「心を楽しませ、小さなことにくよくよしないで生きれば、おのずと長寿になる」という意味で、『荀子』に収められた「衆を得れば天を動かし、意を美ませれば年を延ぶ」が原文です。

自らの「心」が愉しんでいれば、「身体」も活性化され「健康」になり、その結果、寿命も延びるという考え方のようです。

この言葉のような生き方をしている人といえば、たとえば芸術家です。芸術家は日常的に「美」に接していますが、著名な芸術家には長寿が多いように思われます。画家でいえば小倉遊亀は105歳、片岡球子は103歳、パブロ・ピカソは91歳、マルク・シャガールは97歳まで生きました。

日本書道協会「名言名句辞典」他より抜粋編集

佐々木 峯雲

没頭できる趣味を持つということは、「心を楽しませる」手段の一つとなると思います。

一凜に通っている皆さんは、心を楽しませながら書道に勤しんでいらっしゃいますか？『毎月の課題に追われて辛い。楽しむ余裕なんてない』と思っている方は少なくないのではと察します。しかし、月例課題を提出する度に達成感や解放感を得ているのではないでしょうか。経験を積んでいくことで、以前より上達した実感を得られているのではないかと思います。

「美意延年」というならば、健康のためにやや解放感を得ているのではなくて、「心を楽しませながら『美』に接することが領域が広がっていくのではないかと思います。

「美意延年」ということで、健康のためにも、心を楽しませながら「美」に接することができるよう精進し続けたいものです。

「西日本新聞書道之友展2019」の結果が発表されました。

《福岡市長賞》
月曜日Cクラス 小田明子さん

『大宰府天満宮賞』
月曜日 A クラス 竹村 泰徳さん

今年も西日本新聞社主催の書道展に一凜から5名の方が出品し、全員が入選されました。中でも、小田明子さんは見事「福岡市長賞」を受賞。竹村泰徳さんは二度目の特別賞「大宰府天満宮賞」を受賞され、会友になりました。今回はお二人の感想文と共に、5名の作品をご紹介します。

私が一凛に入会したのは平成二十三年二月でした。これまで幾かの習い事をしてきましたが、じれも長続きせず、書道も二十代の時に少し習った程度でした。四十（締切まで 約二週間）入り、な返し、七月添削を繰り

れた時です。妻に辞めること伝えると、「そんなに真剣に叱つてくれる先生はいない」辞めるのは簡単！」と言われました。その言葉で何とか踏みとどまることが出来ました。この度、西日本新聞書道之友展で

日Aクラス
八榮子さん

芳草春深閑月明
白雲一派花似錦

曜日Bクラス

一春紙鳶綱似月多
春雨波冷^ム秋

區馬大衝雲滿度山豪
然長嘯斷崖間

10

10月分課題は昇段・昇級審査対象課題となります。

提出期限予定日は11月10日(日)です。

日頃の練習の成果を十分に発揮し、昇格を目指して頑張りましょう。

人生を素敵に生きるために。パラダイム料理は「話食」です。必要な栄養素は話材の言葉を用意して、誰と何を話すかが駆走です。東西南北から集めたニースソースを入れて話します。
自然界にあっては温度差一度というのは大変な出来事である。仮に気温が一度上ると、同一の植物の分布の北限は百キロから百五十キロものびるという。

《硬筆》
10級～1級

《かな》

The image displays four panels of calligraphy practice:

- Top Left:** Chinese characters "紅葉" (Red Maple Leaves) in a large, bold brush script.
- Top Right:** Chinese characters "悔悟" (Repentance) in a large, bold brush script.
- Bottom Left:** Japanese characters "よ——やま——い——か——ぐ——" and "旅のすきにしきわすれ" in a smaller brush script, followed by the text "《かな》六段以上" and "たが里に旅宿しつらす。
- Bottom Right:** Japanese characters "お——か——く——そ——と——" and "旅宿——おもてなし" in a smaller brush script, followed by the text "《漢字》草書" and "六段以上".

段～五段 《かな》六段以上
○末にても たが里に旅宿しつらむ
人の情を ぬばたまの
夜半の嵐の うたて寒きに

配布された手本に間違えがないか、左記課題一覧を必ず確認してください。

受験料 六段まで…1課題 500円／準師範以上…1課題 800円

初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。
十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼
してください。

※選択受験をする方は申請書の提出が必要となります。

※令和元年6月の昇格・昇段試験後から令和元年9月までの3ヶ月の間で、

課題の未提出が1回以上ある方は受験不可となり、課題提出のみの扱いとなります。

今月の言葉

今年は、西日本新聞書道之友展に五名の方が出品しました。その中の一人は、平成二十六年、二十七年、二十九年、三十年と入選はするものの、四回全て「奨励賞」。『もう奨励賞はいらぬからね！』今年こそは、奨励賞より上位（特選やその上の大賞などの特別賞）の賞を取つて貰いたいという思いから、激励の意味を込めて云つた厳しい言葉でした。

何度挑戦しても結果が伴わなければ、「もういいや！」と、気持ちが萎えてしまいがちです。しかし、「悔しい！」「私はこんなもんじやない」。自らに捲土重来を期して、五回目の出品を決意したのだと思ひます。

行草書体の出品が大半の中、敢えて出品が少ないであります。隸書体で臨ませました（有無を言わせざる強制）。

隸書体は、月例課題で二度書く機会があつた程度でしたから、技量不足は練習量で補うしかありません。本人もそのことは十分承知していたことでしょう。早起きしての出勤前の練習と週二回の教室での補講。出品期限までの間黙々と練習を重ねた結果、納得の行く作品に仕上りました。

七月末、主催事務局より嬉しい審査結果の連絡が届きました。早々、本人に『福岡市長賞』だったことを伝えられまで『テレビ西日本賞』「特選」二回受賞しております。月半の努力が報われた瞬間でした。私にとつても指導者冥利に尽きる瞬間でもありました。

今回「大宰府天満宮賞」を受賞した竹村泰徳氏は、これまで『テレビ西日本賞』「特選」二回受賞しております。通算ポイントにより『会友』に昇格しました。

これからも『やれば出来る』を忘れずに頑張ってください。